【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年4月25日(2022.4.25)

【公開番号】特開2020-52389(P2020-52389A)
【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2020-013
【出願番号】特願2019-91386(P2019-91386)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　5/08(2021.01)
Ｇ０３Ｂ 11/00(2021.01)
Ｇ０３Ｂ 17/14(2021.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225(2006.01)
Ｇ０３Ｂ 15/00(2021.01)
Ｇ０３Ｂ 17/02(2021.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　5/08
Ｇ０３Ｂ 11/00
Ｇ０３Ｂ 17/14
Ｈ０４Ｎ　5/225４００
Ｇ０３Ｂ 15/00　　Ｓ
Ｇ０３Ｂ 17/02

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月15日(2022.4.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像レンズの光軸と直交する面に対して回動可能であり、撮像素子を支持する撮像素子ホルダと、
光学フィルタを前記撮像レンズの光軸上に挿抜可能に支持する光学フィルタホルダと、
前記撮像素子ホルダと前記光学フィルタホルダとが一体的に回動するように前記撮像素子ホルダおよび前記光学フィルタホルダを支持する支持部材と、
前記支持部材を前記撮像レンズの光軸と直交する面に対して回動させる第１の駆動部材と、を備えることを特徴とする、撮像装置。
【請求項２】
前記光学フィルタを前記撮像レンズの光軸上に挿抜させる第２の駆動部材を備えることを特徴とする、請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
前記支持部材は、回動軸を有し、
前記光学フィルタの挿抜方向と前記回動軸の延伸方向は異なる方向であることを特徴とする、請求項１または２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記撮像素子ホルダの回動量を検出する検出部材を備え、
前記検出部材によって検出された前記撮像素子ホルダの回動量に基づいて、
前記光学フィルタの挿抜方向への移動量が決定されることを特徴とする、請求項１から３

のいずれか１項に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記支持部材の回動動作が完了するまでに、前記光学フィルタの挿抜方向への移動を完了させることを特徴とする、請求項４に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記光学フィルタは、前記撮像素子ホルダの回動量が所定値以下の場合、挿抜方向への移動しないことを特徴とする、請求項３または４に記載の撮像装置。
【請求項７】
前記光学フィルタは、赤外線カットフィルタであることを特徴とする、請求項１から６のいずれか１項に記載の撮像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の撮像装置は、撮像レンズの光軸と直交する面に対して回動可能であり、撮像素子を支持する撮像素子ホルダと、光学フィルタを前記撮像レンズの光軸上に挿抜可能に支持する光学フィルタホルダと、前記撮像素子ホルダと前記光学フィルタホルダとが一体的に回動するように前記撮像素子ホルダおよび前記光学フィルタホルダを支持する支持部材と、前記支持部材を前記撮像レンズの光軸と直交する面に対して回動させる第１の駆動部材と、を備える。